

2022年度 事業報告

2022年度も引き続きコロナ禍の下にあるものの、市場では落ち着きを取り戻しつつあり、海外との行き来もやつのこと再開の声が聞こえてくるようになりました。そんな中ではありましたが、当年度も舞鶴国際交流協会にとっては引き続き厳しい年となりました。「海外との行き来」再開基調にあるとはいえ外国との交流事業は依然として再開の声は遠く、国際交流事業はほぼ停止の状況が続きます。コロナ禍の制約も軽減される中、当協会主催の語学講座は通常運営が可能となり、各部会の交流事業も徐々に勢いを取り戻してきました。財務的には当年度はコロナ対応の公的援助も終わりまた交流事業の再開も難しく、引き続き非常に厳しい年度となりました。

会員数に関しては、新たに7名の方が入会され、転勤・引越し等により退会が数名ありましたが、2023年3月末現在にて正会員は79名、内訳は個人会員70名・団体会員4団体・家族会員5名、前年度比では総勢で4名の増加となりました。

冒頭に述べました如く厳しい環境下にはありましたが、「可能な範囲で出来るだけやろう！」との思いでご参集頂いた各部会のメンバー、語学講師、ボランティアの皆さまのご尽力のお蔭で、語学講座の展開、在住外国人の方々との交流事業は意欲的に展開することが出来、当協会のメインテーマである「多文化共生社会の推進」を更にまた一歩推し進めることが出来た事と思います。

自主事業の柱となる語学教室では、「英会話教室（2コース）」、「ロシア語講座」、「初めての中国語会話」、「初めての韓国語」を継続展開しました。これにより友好関係にある4ヶ国全ての言語を学ぶ場を提供する事が出来ました。

各部会活動においては、コロナ感染症拡大も鎮静化の方向にあるものの、感染症への対策上、人数制限等実施諸条件に配慮しながら工夫をこらし、可能な範囲で積極的に催しを企画/展開しました。まだまだ手放しでの催しの展開は難しい状況は続いていきますが過去4年に渡りコロナ禍の制約の下で推し進めてきた「多文化共生社会の推進」を2023年度以降も着実に育てて行きたいと思えます。

MIA事業のもう一本の柱である受託事業は「多文化共生社会推進事業」「中国残留邦人に対する支援」の2事業のみの予定でしたが、コロナ感染の鎮静化を背景に「海外との行き来」の再開もあり、「ウズベキスタン人材育成支援事業」を実施することが出来ました。

「多文化共生社会推進事業」は、舞鶴市からの受託事業として「MIAにほんご教室」「日本語支援ボランティア養成講座」「スキルアップ講座」を実施しました。「日本語支援ボランティア養成講座」は、昨年に続き、現役ボランティア講師による講座でしたが、多くの新規ボランティア登録を得ることができ、熱心に活動に参加しています。長引くコロナ禍の中で地域行事が中止になりましたが、そんな中でも、まいてフェスタでのお国紹介、まなびあむでの7か国の料理の作成販売は、にほんご学習者にとってお国自慢の場になったと思います。また「中国残留邦人に対する支援」は2名の在舞残留邦人の支援を実施し、定期訪問/生活相談及び病院での通訳等を実施しました。

決算概況は、コロナ感染症も鎮静化の方向にあり過去3年間止まっていた外国との交流事業も復活の兆しが見え、予算外の新規交流事業（受託事業）を受注し、受託事業収入では大幅に予算を上回る結果となりました。一方、自主事業に関しては、感染症拡大の影響も受けず各語学教室も順調に展開することが出来、ほぼ予算通りの収入実績となりました。2事業での収入合計では予算比200%となりました。

支出に関しては事務局のPCサーバーリース契約終了に伴う新システム導入によりコストダウンを図り、また事務局員の勤務形態を繁忙期以外の勤務シフトの変更（勤務日数減を含む）により、管理費合計では予算比84%と16%の削減をしました。

当期収益は480,583円の赤字となりましたが、予算ベースでは100万円強の改善をし、2023年度への繰越金は4,002,364円となりました。

2022年度実施事業(2022年4月1日～2023年3月31日)

主務 部会	事業名	事業内容	実施期間	実施状況
受 託 事 務 局 業	ウズベキスタン人材育成支援事業	ウズベキスタン共和国との関係強化を図ることを目的としたウズベキスタン人材育成支援事業に係る業務を舞鶴市と連携して実施した。	10～11月	市職員3名及びスペシャリスト2名、総勢5名の茶栽培調査団の現地訪問/市場調査の出張サポートを実施。
	多文化共生社会推進事業	舞鶴在住外国人が日本語能力を習得できるよう「にほんご教室」の開催や情報発信を通じて、相互の文化を認め合い、多文化共生社会の実現を目指した。	通年	・ボランティア養成講座：3回(10時間) ・にほんご教室：46回 ・スキルアップ講座：4回 ・まいてフェスタ(世界7か国紹介)
	中国残留邦人に対する支援	舞鶴在住の中国残留邦人への中国語による生活相談・支援。家庭での市職員との会話や病院での医師との同時通訳を行った。	通年	定期的に訪問し、生活に関する相談、家庭や病院での通訳等に当たった。

主務 部会	事業名	事業内容	実施期間	実施状況	
自 主 事 務 局 業	英会話教室	「GoSpeak English」(外国人講師)と初級英会話教室(長期滞米経験者)の2本立てで展開。	通年	毎水曜日18:30-20:00、生徒数 11名 毎金曜日19:00-20:30、生徒数 6名	
	初めての中国語会話	友好都市である中国/大連出身の講師による会話力重視の講座。	通年	毎木曜日19:00-20:30、生徒数 6名	
	ロシア語講座	2022年8月より、舞鶴市在住の外国人講師による初級者向けの講座。	通年	毎火曜日19:00-20:30、生徒数 7名	
	初めての韓国語講座	外国人講師による講座。初歩から始める講座で基礎をしっかりと身につけ、韓国旅行が楽しめるようになることを目標に!	通年	毎月曜日19:00-20:30、生徒数 4名	
	通訳・翻訳	5カ国語(英語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語)による通訳・翻訳業務を提供。	通年	「引揚語り部」の語り英訳をはじめ各種証明書の翻訳8件実施。	
	西舞鶴を英語で案内	クルーズ船が復活した時の備えとして、外国人に西舞鶴を道案内できるように、英語表現を学んだ。	6月	外国人2名/高校生3名を含む18名参加。モデル会話を作成し、表現方法を学習。ペアになって道案内の発表をしあい、楽しいレッスンとなった。	
	夏越しの大祓神事(茅の輪くぐり)	朝代神社で「茅の輪」をくぐって、半年を平穏無事に過ごしてきたことに感謝し、残り半年の安全を願う、古くからの歴史ある日本文化を体験。	7月	外国人3名含む16名参加。各人祈願したいことを紙に書き、お供えを同封して茅の輪をくぐる。後、宮司のお話を全員で聞いた。	
	城下町を歩く	田辺城城門を出発し、戦国時代に作られた町並みや道の名残をガイドの会の武田氏から説明を聞きながら町歩きを楽しむ。	10月	外国人5名を含む19名参加。天候に恵まれて、外国人と共に町歩きコースの地図を見ながら、説明を聞きながらの楽しい町歩きを体験した。	
	フラワーアレンジメント(お正月飾り)	フラワーアレンジメントの基礎を学び、日本伝統文化である「水引き」づくりをする。また親子や夫婦の参加者には、クリスマス飾りを準備する。	11月	外国人3名を含む17名の参加。正月飾りの種類等を説明。お正月飾りと水引を作り、最後に抹茶と生菓子でお正月気分を味わった。	
	イングリッシュカフェ	外国人と英語でおしゃべりを楽しむと同時に、彼らの母国について学ぶ機会とする。	5月	41名(内外国人7名)参加。5グループに分かれて外国人と英語で会話後、学んだ内容を発表しあう。最後に外国人が主導し英語ゲームで盛況に終わった。	
	ハロウィーンパーティ	外国人による、外国のお祭りである「ハロウィーン」を実施。ハロウィーンとは(?)から始まり、ゲーム、仮装、トリック オア トリートとすべてを、外国人による企画・運営を実施する。	10月	大人34名/子供18名を含む52名参加。今回は子供の参加が多く、人形劇や仮装パーティが大変盛況であった。次回を期待されている。	
	多文化共生 部会	在舞外国人生活相談・支援	在舞外国人の生活相談や支援。	通年	「にほんご教室」を通して、受講者の生活相談に応じた。